

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：令和3年1月29日（金）10時30分～11時30分
3. 場所：原子力規制庁 18階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

横山係長、市森係員、

宇野課長補佐、知見主任安全審査官、高松専門職、伊藤係長、高木技術参与（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所

田中原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当6名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、主に以下の説明があった。
 - 1/2号機排気筒ドレンサンプピットの対応について
 - ◇ 1/2号機排気筒の解体が完了し、排気筒上部に蓋を設置。排気筒上部の開口は約99%閉塞されたものの、降雨時にピット内の水位の上昇が確認されたため、対策として雨養生カバー南側開口部へのカバー追設を行ったが、昨年12月及び本年1月にピット内の水位上昇が発生した。
なお、排水ポンプ起動時以外の水位の低下は見られておらず、系外への流出はない。
 - ◇ 上記より、雨水流入対策をした箇所とは別に雨水流入経路がある可能性があることから、流入経路の調査方法を検討すること。
 - 増設ALPS(B)クロスフローフィルタ不具合調査状況の経過報告
 - ◇ 昨年10月に発生した増設ALPS(B)のバッファタンク出口の水より、若干の白濁を確認したことについて、原因調査を進めている。
 - ◇ 調査において、クロスフローフィルタの開放点検を実施したところ、フィルターエレメントの損耗を確認したため、フィルターエレメントの交換を行う。
 - ◇ 今後も原因調査を継続する。
- 原子力規制庁は、上記説明を確認するとともに、増設ALPS(B)クロスフローフィルタの不具合調査状況については、原因究明及び復旧のスケジュールを含め、引き続き進捗を報告することを求めた。

6. その他

資料：

- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2021年1月22日～2021年2月4日）
- 福島第一原子力発電所の滞留水の水位について（2021年1月22日～2021年1月28日）
- 各エリア別タンク一覧
- 汚染水等構内溜まり水の状況（2021.1.21時点）
- タンク建設進捗状況
- 1/2号機排気筒ドレンサンプピットの対応について

➤ 増設 ALPS(B) クロスフローフィルタ不具合調査状況の経過報告